

タウンミーティング

「すべての市民が、生き生きと暮らしていけるまちづくり」を目指して

施政方針に掲げた重点施策

☆生産年齢層の増加と子育て支援の充実
(移住・定住策の強化)

☆企業誘致

☆地域経済の活性化

☆財政の健全化・安定化

生産年齢層の増加が すべての施策に影響する

- ☆ 生産年齢層 = 働き盛り世代 = 子育て世代
- ☆ 生産年齢層 = 最も消費が旺盛な世代
- ☆ 生産年齢層 = 経済の中心的役割
- ☆ 生産年齢層 = 未来を担う子どもの育成

人口減少社会において 生産年齢層の増加など可能なのか？

- ☆ 都会になくて、あきる野市にあるもの
あきる野市にある環境を活かしていけば
可能であると思います
- ☆ 子育て世代が住みやすい魅力がある

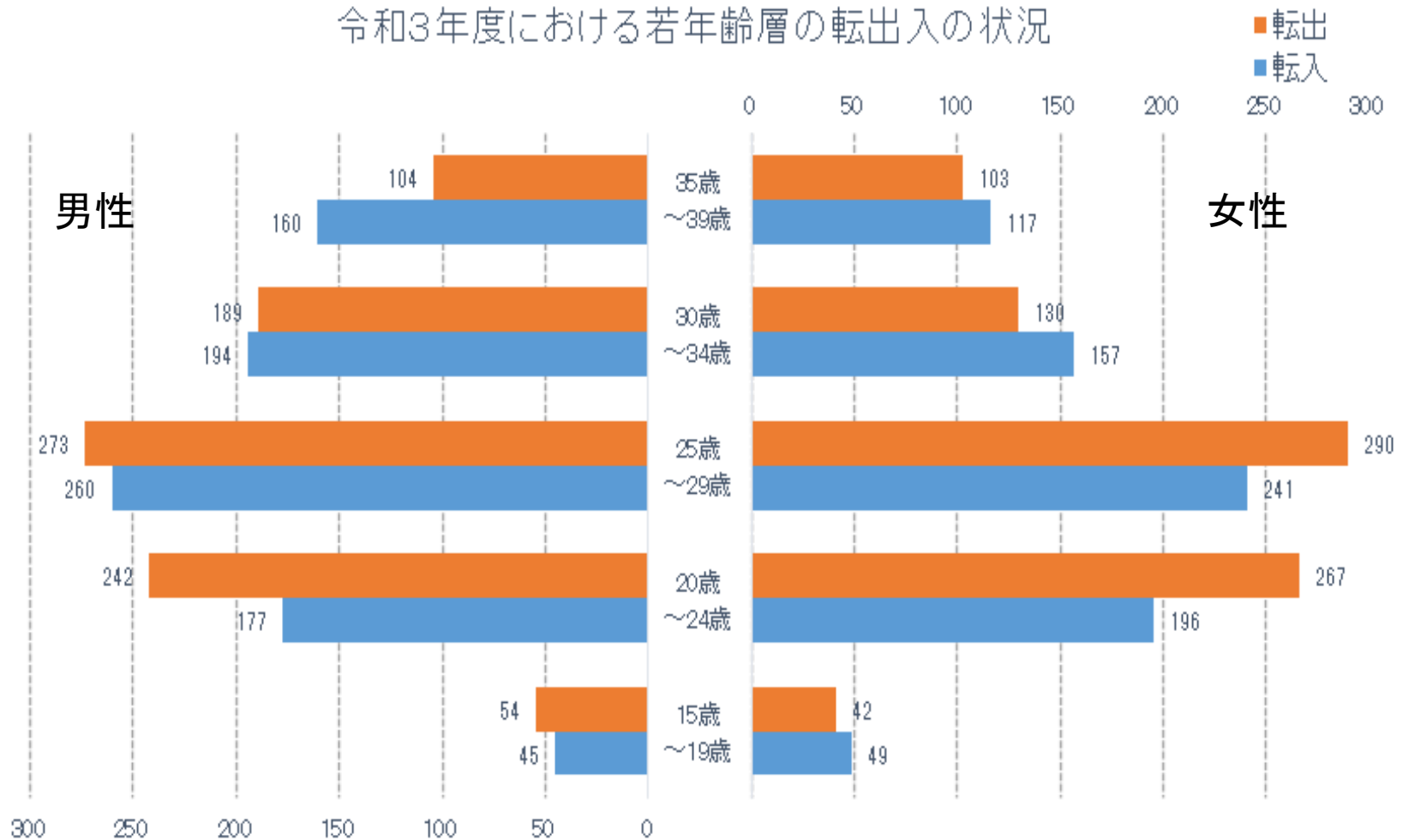
あきる野市の人口推移は

総人口及び年代別人口の推移(隔年4月1日現在)



あきる野市の 年代別の転出・転入数データ

令和3年度における若年齢層の転出入の状況



あきる野市の年代別動向

- 出生数が少ないため**減少** 0～18歳
 - 社会人になり就職を機に市外へ移住し**減少**
18～20代
 - 結婚し家庭をもち、帰ってくる(Uターン)
移住してきたり(Iターン)で**増加** 20後半～40代
- ※トータルすると**減少**のほうが多いのが現状

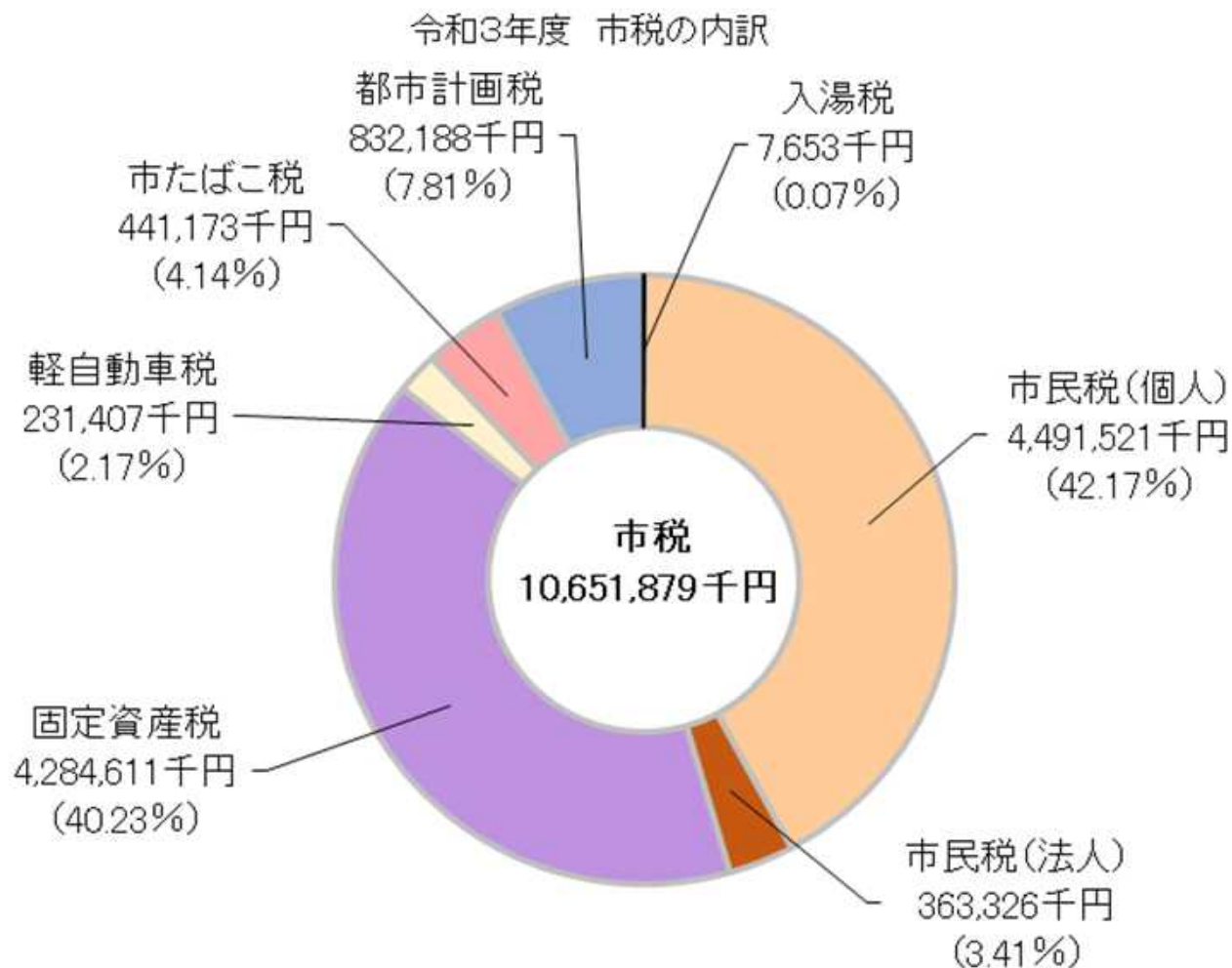
なぜ？30代など 子育て世代の転入が多い？

- ・自然環境が良いところで子育てがしたい
- ・あきる野市は買いやすい不動産価格
一戸建て率77%で都内26市のなかで
ダントツで1位！
- ・環境の良さと不動産価格とのコスパが良い

良いところを伸ばすことが得策

- 苦手なところを無理して頑張るより、得意なところを伸ばした方が成果を出しやすい
- 子育て世代が、さらに暮らしやすい環境を創造することが大事

財政安定化にも生産年齢層が重要



移住定住策に追い風あり

- パンデミックがリモート化など働き方の変化速度を加速させた
- 仕事に対するワカモノの遣り甲斐、人生観も多様化
- 教育も多様化 勉強以外に体験学習や感性を育むことも重視
- 良い自然環境下での子育て願望が増加
- 移住・定住のニーズは確実に高まっている

生産年齢層の増加に重要なこと

- ・移住定住策の強化
住みやすさの充実・PR・受け入れ態勢が重要



移住定住担当を配置

- ・住まいの提供
(空き家対策が移住結果だけでなく、自治機能の維持に大きく影響する)

- ・子育て環境のさらなる充実

子育て施策（当市独自実施策）

- 高校生以下の医療費完全無償化と
所得制限の撤廃を実施
（西多摩の市では当市のみ）
- 子育て拠点施設
『子育てステーションこころの』の運営
（妊娠期、出産、子育て期の切れ目のないワンストップ支援）
- 病児病後児保育施設『ぬくもり』の運営

子育て施策

- 伴走型相談支援と経済支援の一体化事業
 妊娠8カ月頃のアンケート回答で5万円のカタログギフト
 新生児訪問時のアンケート回答で5万円のカタログギフト
- 3歳児健康診査に屈折検査器導入
- 子どもの学習・生活支援事業の増設
- 学童クラブの待機児ゼロ(令和6年4月より)
- 子育て世代への情報発信の強化と電子母子手帳の導入
- バースデイサポート(相談機会の創出と経済的支援)

今後、力を入れていきたいと 考えている子育て環境

- 幼稚園、保育園に通っていない子どもや
世帯へのサポート
- 通学に支障のない公共交通環境
(JR五日市線のダイヤ改善や
公共空白地へのサポート)

コトスム

KOTOSUM

東京あきる野 移住情報ガイドブック

子と住むトカイナカ

あきる野市ってどんなところ？
～都心に近く自然を身近に感じるマナー～
移住のことは相談員に聞いてみよう
移住で叶う理想のライフスタイル



移住・定住情報満載！
ウェブサイトができました！





Yozawa
Akiya
Taisaku

里くら養沢たより

改修費かかる物件にも借り手 低家賃、自ら直す条件で

養沢活性化委員会空き家対策部会では、空き家の持ち主と借りたい人を仲介し、空き家活用を進めています。このチラシでマッチングが成立した事例を紹介します。



鋭意改修中。傷んだ床をはがす作業に取り掛かっています。



家主の森屋さんのコメント



空き家部会のみなさんには、内覧から入居者の意向の確認、契約まで親身になって全てやってくれました。古い建物ですが、鈴木さんに借りていただき、ありがとうございます。



借り手の鈴木さん

今回の物件は、人が住まなくなって15年ほど経った平屋。傷みが激しく、活用するには高額な改修費がネックとなっていました。「安い家賃で提供する代わりに借主が自分で修繕する」という条件で、現状のまま賃貸契約が成立しました。

事の始まりは、家主の森屋さんが、養沢活性化委員会空き家部会が郵送したアンケートを見て部会長の内山正美さ

んに連絡したことでした。

この建物は森屋さんの生まれ家で、森屋さんが地元を離れた後も母親が暮らしていましたが、この15年ほどは空き家になっていました。市街化調整区域の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に当たるため建て替えが難しい物件。複数の工務店に見積もりを依頼したところ1000万円以上かかることがわかり、どうしたものかと考えあぐねていたそ

- 4年ぶりの再開「マールポロウ市」との国際交流事業…2面
- 特定不妊治療費の一部助成事業を開始…2面
- 公共交通実証実験期間を延長…3面

別紙 2

場 所
田小 (実行委員)
第4会議室
3階 第1会議室
階相談室
小
: 35
: 10
庁舎
ろぎ」ホール
2階
3階
支局
(午前中)
(日程調整)
談室
2階
室
司
室

あきる野市の移住・定住は、都会に近く田舎暮らしができる場所「トカイナカ」、生産年齢人口で子育て世代の方も住みやすい「KOTOSUM (子と住む)」をコンセプトにしています。

市では、地域や産業の担い手である生産年齢人口の減少に歯止めを掛け、未来を支える世代を増やし活力ある社会を築くため、移住・定住策に取り組みます。市民の皆さんには「住み続けたいマチ」、市外の方からは「住んでみたいマチ」を目指します。

住み続けたい 住んでみたい マチをめざして



子育て中の市民の皆さん (小机邸の古民家)

担 〇 〇 市 民
しごお力皆マの魅か信の市だの知
トジす極 階窓け分 移
るコア 的市。口付野 住

